日本生理心理学会大会抄録原稿作成要領

―**2018**年度版―

○主発表者　姓　名（△△大学□□研究科）

　連名発表者　姓　名（所属）

本学会の学術大会の折に提出していただく発表抄録は，学会誌“生理心理学と精神生理学”に掲載されます。抄録原稿は，以下に述べる要領にしたがって作成し，word形式のまま（あるいはword形式とpdfの両方を）編集事務局（jspped@hiroshima-u.ac.jp）宛にメールで送ってください。ファイル名は“演題番号・主発表者”としてください。

抄録の構成

科学論文の要件を満たすように，研究の目的，方法，結果，考察などの項目に分けて記述してください。一連発表の場合にも，それぞれの発表が完結した論文であることが必要です。書き方は“心理学研究”の執筆・投稿の手引きに準じます。ただし，著者が3名以上の場合の文献の引用の仕方は異なります。

用紙と書式

Microsoft Wordを使用して，A4用紙1ページで作成してください。24字×42行×2段とします。余白は上下を30 mm，左右を20 mmとってください。

題目　MSゴシック10 pt，中央寄せ。副題がある場合は，前後に“―：全角ダッシュ”をつけます。

発表者名　MS明朝10 pt，左寄せ。姓と名の間に全角スペースを入れ，主発表者の氏名の前に○印をつけてください（連名発表者がいない場合も）。

所属　MS明朝8 pt，氏名の横にスペースを入れずに書き，“（　）：全角丸かっこ”で囲みます。所属が大学の場合には学部，研究科等まで記入してください。連名の場合，発表者の所属が同一の時には一つだけ記入します。連名者が多数の時でも，所属は省略せず，正式な名称で記述してください。所属が複数ある場合には，“，：全角カンマ”で区切ってください。

見出し　MSゴシック10 pt，“方法”，“結果”，“考察”は横大見出し（左寄せ，本文は改行して始める），“実験参加者”などは横小見出し（左端を1字あけ，本文は1字あけて続ける），“引用文献”や複数の実験を報告する場合の“実験1”などは中央大見出しとします。

本文　日本語はMS明朝，英数字はTimes New Romanの10 ptを使用してください。発表者名・所属の行から1行あけて始め，段落の最初は1字下げてください。句読点は“，：全角カンマ”と“。：全角マル”を用います。英数字は全て半角とします。

記号など　統計量を表す記号（*M*, *SD*, *t*, *F*, *p*, *df*など）は，ギリシア文字を除いて斜体にします。例や説明を書く場合にはコロン（：）を用います。セミコロン（；）は，検定結果を列挙する場合および括弧内に引用文献を列挙する場合のみに使ってください。括弧は，原則として2重括弧の場合も含め（　）を使用します。下線・傍点は，原則として使用しないでください。数式記号のうち，“=：半角等号”，“<：半角不等号”の前後，“,：半角カンマ”の後には，半角スペースを入れてください。量を表す数字と単位の間には，半角スペースを入れます。

図表　図と表を合わせた面積が全体の1/3を超えないようにしてください。図表には，番号とタイトルを必ず記入してください。写真の掲載はできません。カラー印刷はできませんので，Figure 1のようにグレースケール化してください。また，Table 1に本文での文献の引用の仕方を示します。



Figure 1. カラー図版のグレースケール化

Table 1. 本文での文献の引用の仕方

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 著者数 | 文章として入れる場合 | 括弧内に示す場合 |
| 1名 | 著者（出版年）は…Author（Year）は… | …である（著者，出版年）。…である（Author, Year）。 |
| 2名 | 著者・著者（出版年）は…Author & Author（Year）は… | …である（著者・著者，出版年）。…である（Author & Author, Year）。 |
| 3名以上 | 著者ら（出版年）は…Author et al.（Year）は… | …（著者ら，出版年）。…（Author et al., Year）。 |

引用文献

引用文献は，最後に一括して示します。表記が2行以上にわたる場合には，2行目以降を全角2文字分下げてください。著者の姓のアルファベット順に並べ，著者が全く同じ場合には，出版年順に並べます。

（脚注・謝辞など　MS 明朝8pt左寄せ。本文の最後に書いて，“（　）：全角丸かっこ”で囲んでください。）